

2024年(R6年)



No. 388

ひと は 福 社 会



社会福祉法人 ひと は 福 社 会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムハフクシ) http://hitoha-fukushi.com (メルアド) honbu@hitoha-fukushi.com

(題字: 石田孝三)

HITOHAFUKUSHI

地球沸騰化と表現されるように、今年の夏も危険な暑さが続きました。強い日差し

は降り注ぐものの降水量が少なく、人間だけでなく草花も夏バテ気味の様子でした。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

この夏は4年に一度のスポーツの祭典「パリオリンピック・パラリンピック」が開催され

日本選手団の活躍が連日放映されました。また、高校球児たちが鎧を削り合う甲子

園での熱戦と、新聞、ネットニュース、テレビ等の媒体から寄せられる競技、試合結果

が楽しみな夏でした。その一方で熱戦を繰り広げた選手に対して、誹謗中傷が寄

せられることが表面化する事案も散見され、選手やその関係者が心を痛めるということ

もありました。SNSの便利さは周知の通りですが、使い方を誤ると向けられた人の

人生に深刻な影響を及ぼしてしまいます。このような行為は匿名性を盾にした

卑劣な行為であると言わざるを得ません。

一方で誹謗中傷は障がいのある人に対してもインターネット上の掲示板でも散見さ

れ、個人の尊厳や人権を蔑ろにするなど由々しき状況です。容易く情報を得ること

はできますが、これらは自らが経験、体験を経て得た情報ではありません。障が

いのある人たちとの関わりがないことで障がいに対する認識を誤り、障がいのある

人々を誤解していることが多分にあると思います。

年齢や障がいの有無、国籍に関わらず誰しもがかけがえのない人生を歩んでいます。

それをひとはでは「自生文化」と呼んでいます。ひとはは、ひとはつうしんなどを通

して仲間たちとの実践を発信していくことで、誰でもがともに暮らせる社会の実現

を目指しています。そのために引き続き皆様のお力をお貸しください。

(理事長 佐竹 正亮)

ひと は つう しん 制作の 思い

ひと は つう しん 9月号の表面に描いたイラストの目を閉じた顔は目に見えない

意思を、カラフルな三角形は意思決定の選択肢とその方向を表現しています。

意思を汲み取るのか、導くのか、促すのか、意思決定を支援するということはどういう

ことなのか? の答えが特集の記事内に載っている。その序びらきとして絵を描きました。

9月号に限らずですが、最近の僕のデザインはコンセプトや意義から考えないよう

にしています。

それよりもまとまらない情報や形にならない思いを受け取ってどう感じたのかを、

フォーマットに合わせて素直に表せられたらいいなと思っています。

ある意味、このアプローチも意思の表出であり意思決定支援みたいなところ

もあるかもしれないなと、こじつけみたいになりましたが、思ったりもしました。

(グラフィックデザイナー 田中 賢)

奨励賞 受賞

第108回 二科展 デザイン部 D部門 (フリースタイル)

において、ひと は 工房の川崎 茂 さんが

奨励賞を受賞されました。9月7日、東京の国立

新美術館にて行われた授賞式に出席され、長時間

だったことによるストレスや緊張もあ、たと思ひますが、

賞をもらえる時やギャラリーの前に立たれた時に

は 堂々とされていた印象でした。

(ひと は 工房 松本 拓也)

授賞式後のひと は にて

出田 「東京 どうでした?」

川崎 「東京でした。」

出田 「間違いない!」

お姉さんも一緒に行かれ、

東京タワーにのぼったり、茂さんが

希望された水族館へ行かれたり

されたそうです。

「ホームの朝パートを始めて」

ひ

入った当初、きららの人たちに名前をなかなか覚えてもらえず、沖本さんには「お兄ちゃん」と呼ばれています。1年過ぎても変わることはありませんでしたが、沖本さんの言いたいことが自分もなかなかわかりませんでした。ベッドのことを「ねま」、靴下のことを「たび」と呼ばれ、洋服を着替える支援をする時には怒られていました。時間が経つにつれ「ごめんネ」「アリガトね」と言われ、疲れも吹っ飛びました。挨拶一つ、ことは掛け一つで気持ちも良くなったり悪くなったり、ことごとく一つ一つが大切なことなんだと感じさせられています。

(共同ホーム 岡部 弘文)

は

向井大輔さんとの食事の会話

「昨日ね、皮膚科に行、たんよ。お尻をみてもうたんよ」大さん

「どうだった？」私

「先生がね、割れとるゆうちゃった」大さん

「ほんまに、お尻はわれとるよね」や、ぱり向井さんと話すとおもしろい。

(ひとは工房 伊藤 千代子)

「サラッと見える」

日

ひとは館へ行くことを提案すると、はじめに水附美江さんがのってくれ、

周りのきららを誘ってくれました。土曜日は開いていなかったので久々に！

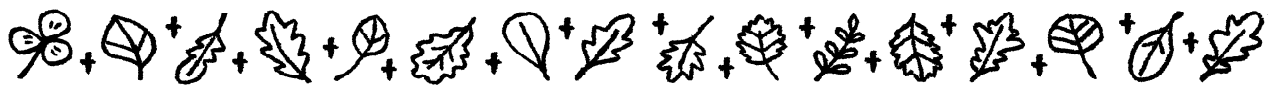
みんなアイスの味を悩みに悩んで決め、ホーム玄関前まで移動した時には少し溶けてしまいましたが、とても美味しいねと話しながら食べました。

買い物帰りの平田さんと偶然出会い、「兄貴、一緒に食べよ！」と

美江さんが誘って一緒に食べました。誰に対しても「一緒に○○しよ！」

とサラッと見える美江さんにいつも感動しています。

(共同ホーム 柳 綾乃)



「ひとは40周年を前に」

ひとはの夏といえば、縄文あいす！ブルーベリー！美味しいものがたくさんある。そして、もう一つ...「草刈り」である。

自慢ではないが、私はひとはに来るまで草刈りをしたことがなかった。ひとはに入職して22年...今では趣味=草刈りと言っても過言ではない。

ひとは工房に配属された10数年前、ひとは館周辺の縄文の池やちやらのひろばの草を刈ったのがきっかけである。その頃から、シーズンになると草との競争であった。そして、私には草以外にも競争相手がいた。

それは文尚さんである。

私が「来週あたり草を刈ろうかのお」と思っていると次の日の朝には文尚さんが縄文の池の草を刈っている。次は文尚さんより早く始めるぞ、よし明日には...と思うと、その日の夕方には文尚さんが草刈りをしている。

いつしか、私の中で文尚さんは草刈りのライバルになっていた。

晩年は、体調のことであって、なかなか草刈りができなくなっていたが、私が草を刈ると「おー、いでちゃんありがとう。キレイになった!!」と笑顔でいつも声をかけてくれた。

そして、今でも草を刈ると、空から「おー、いでちゃんありがとう。キレイになった!!」と文尚さんの声が聞こえてくる。

(出田 広志)

編

集

後

記

お彼岸になると、祖母のおはぎを思い出す。毎年春と秋のお彼岸の近づくと「おはぎ作るからおいで」と呼んでくれていた。祖母の作るあんこが好きで、小豆から茹でるのをそばで見ているなら「うちのあんこは甘さ控えめだから」と言いながら鍋に砂糖をドバドバ入れていてびっくりした。炊きあがったご飯をつぶすとき「はんごろしにする(半分だけつぶすこと)」と言われてゾッとした。濡らした手拭いを使ってあんこを包むのが祖母のやり方で、言葉や作業一つ一つが新鮮だった。たまにあの味が恋しくなる。(白井くみこ)

まちにまったひとはまっぴか
めってきま。

ことしはみやさきかくらだんなど

いろんなきかくをたふさん
けいかくしています。

きらら、はくしいちどう
おまちしておりますので、ぜひ
あそびにきてください

じ、ころいんちう

谷川恵美

第20回

ひとはまつり

~ワッハッハをもう一度~

令和6年10月26日(土) 10:30~15:00

ひとは作業所前広場

(安芸高田市向原町長田 1857)

🍻 仮装コンテスト開催 🍻

当日仮装してご来場ください



☆ 仮装された方には駄菓子プレゼント ☆

「みんなのアート展」開催

~作品募集~

10/19(土)×切

※絵画作品に限ります

詳細はひとは本部 (0826-46-2960) へ

☆最新情報は ひとは福祉会 instagram

@hitohafukushikai でも発信しています☆

主催：第20回ひとはまつり実行委員会・自治会きらら

後援：長田下地域自治振興会 六風会 明神クラブ ひとは福祉会

問い合わせ：社会福祉法人ひとは福祉会ひとはまつり事務局 ☎0826-45-7171

宮崎神楽団
出演!

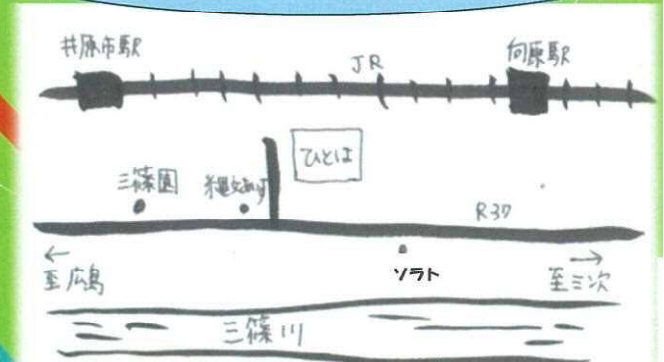
飲食

焼きそば 天ぷらうどん
チャーハン+シューマイセット
ジュース

出店

自主製品 わなげ
ヨーヨーつり
ボールすくい

キッチンカー来場予定!



駐車場あり

※乗り合わせでのご来場をおねがいします